

# 被災と復興の記憶 ——アーカイブする、継承する

2019年9月28日(土) 第1部14:00-15:50 / 第2部16:00-18:30

参加費無料・事前登録不要 @成城大学 Lounge#08

第1部 アーカイブすること  
(14:00-15:50)

3がつ11にちをわすれないために  
——コミュニティ・アーカイブのこころみ

講演 甲斐 賢治 (せんがひメディアテーク)

第2部 文化を継承すること  
(16:00-18:30)

映画上映『廻り神楽』  
——三陸の大津波を生き抜いた神楽の物語

講演 遠藤 協 (『廻り神楽』共同監督/プロデューサー)

# 被災と復興の記憶

## ——アーカイブする、継承する

### 第1部 アーカイブするということ (14:00–15:50)

3がつ11にちをわすれないために  
——コミュニティ・アーカイブのこころみ

講演 甲斐 賢治 (せんだいメディアテーク)

質疑応答/ディスカッション

#### [内容]

2011年5月3日、東日本大震災に向き合い、復興への長い道りを歩きだすため、市民、専門家、スタッフが協働し、映像、写真、音声、テキストなどさまざまなメディアの活用を通じて復旧・復興のプロセスを記録、発信していくプラットフォームとして「3がつ11にちをわすれないためにセンター」(通称:わすれん!)がせんだいメディアテーク内に開設されました。それはどのようなプロセスで立ち上がり、どのような人びとがかかわってきたのか。またそこで得ることができたノウハウや成果、課題はどのようなものなのか。第1部では、「わすれん!」の立ち上げからかかわってこられた甲斐賢治氏を講師にお招きし、地域に根ざした草の根・参加型の「コミュニティ・アーカイブ」の可能性を探ります。

#### 参考:

佐藤知久, 甲斐賢治, 北野央(2018)『コミュニティ・アーカイブをつくらう!——せんだいメディアテーク「3がつ11にちをわすれないためにセンター」奮闘記』晶文社。

3がつ11にちをわすれないためにセンター(通称:わすれん!)  
<https://recorder311.smt.jp/>

### 第2部 文化を継承するということ (16:00–18:30)

映画上映『廻り神楽』(1hr38min)  
——三陸の大津波を生き抜いた神楽の物語  
(長編ドキュメンタリー映像作品)

講演 遠藤 協 (『廻り神楽』共同監督/プロデューサー)

質疑応答/ディスカッション

#### [内容]

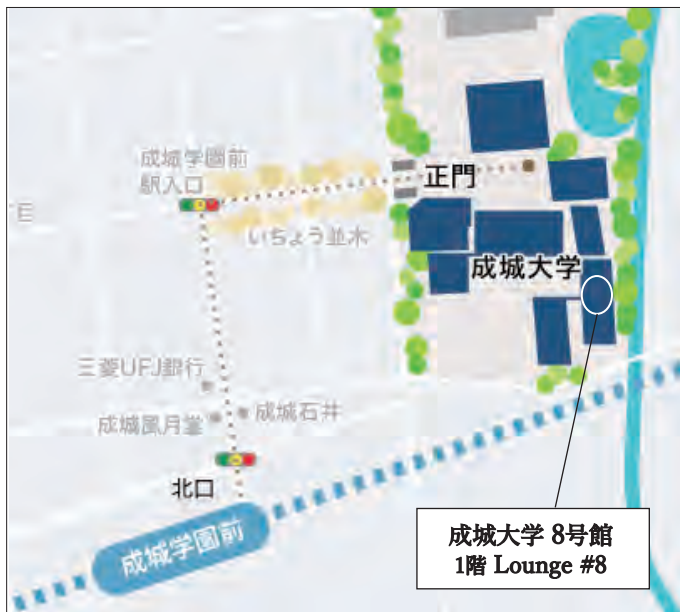
三陸の海辺を340年以上巡りつづける岩手県宮古市の伝承芸能、「黒森神楽」。東日本大震災で千年に一度と言われる大津波が沿岸を襲いました。それでも黒森神楽は、以前と同じように海辺を巡り始めます。震災のあと早くも3ヶ月後に活動を再開。避難所や仮設住宅を訪れ公演を行ってきました。

長編ドキュメンタリー映画である『廻り神楽』では、古から三陸地方を巡ってきた黒森神楽の足跡を追いながら、この地方の生活と信仰が描かれます。人々の幸福を願う神楽衆の祈り、漁師たちが海に注ぐ思い、沿岸の人々の来し方行く末、千年に一度と言われる大津波を経ても変わらないものは何か——第2部では、映画『廻り神楽』上映の後、本作品の共同監督/プロデューサーである遠藤協氏に、無形文化の継承と災害の記憶・伝承についてご講演いただきます。

#### 参考:

『廻り神楽』公式ウェブサイト  
<https://www.mawarikagura.com/>

## 会場へのアクセス



小田急線「成城学園前」駅より、北口を出て徒歩5分  
成城大学 8号館 1階 Lounge#8

※ 小田急線急行は停まりますが、快速急行は通過します。ご注意ください。  
※ 参加費無料・事前登録は不要です。当日は直接会場にお越しください。

#### 主催

成城大学グローバル研究センター 文部科学省私立大学研究ブランディング事業  
「持続可能な相互包摂型社会の実現に向けた世界的グローバル研究拠点の確立と推進」  
生活資源研究チーム

本研究会に関する問い合わせ先:

標葉 隆馬 (成城大学文芸学部マスコミュニケーション学科 准教授)

E-mail: [r\\_shineha@seiyo.ac.jp](mailto:r_shineha@seiyo.ac.jp)